



手を合わせる場所

柿原 興乗師



日本のお寺では、一月の報恩講や八月のお盆の時期になると、お坊さんが各門徒さんの家を訪ねて、その家のお仏壇の前で、ご家族と一緒に参りをする習慣があります。私の実家は広島のお田舎にありますが、昔の日本の家は、信仰する対象を中心として家が建てられており、どの家も、家の中で一番いい場所に、立派なお仏壇が置かれ、そこに阿弥陀さまがご安置されています。中には、お寺と変わらないくらい、大きなお仏壇のある家もあります。いづれにしても、家族が集まる場所、お客さんを招く場所の中心には、いつも阿弥陀さまがいらっしゃいます。

門徒さんは、朝起きて、朝食をいただく前に、炊いたご飯をまずお仏壇にお供えして、お参りをした後、朝食をいただいて仕事に出かけ、夕方、仕事から帰り、家に着いたら、まず阿弥陀さまに手を合わせていました。しかし、その習慣はだんだんなくなり、都会の家では、家の間取りの事情もあり、お仏壇のない家が増えています。

では、もともとのお仏壇とは、どういうものなのでしょう。日本では、お仏壇は、亡くなった家族の人を祀る場所、だからお仏壇を置くにしても、それは家族の誰かが亡くなってから、と思っている人が多いようです。しかし、お仏壇は仏さまをご安置する場所です。浄土真宗で言えば、阿弥陀さまをご安置して、礼拝する場所がお仏壇です。亡くなって、仏さまとなられた、ご家族の方の写真や法名を置くこともありますが、お仏壇の中心は阿弥陀さまで、私たちが礼拝する対象は、阿弥陀さま以外にはありません。阿弥陀さま、仏教の教えを中心として生活することは、私たちにとってとても大切なことです。そして、お仏壇は、阿弥陀さまに手を合わせる場所であるだけでなく、静かに自分と向き合える場所でもあります。

3月の予定

- 5日 10時 キャンプファイアー法要
10時45分 日本語プログラム
- 12日 10時 家族法要・子供法要
10時45分 日本語プログラム
- 18日 サーモン・ディナー
- 19日 10時 家族法要
10時45分 日本語プログラム
- 26日 10時 お彼岸法要
英語ご法話 柿原興乗師
10時45分 日本語法要
日本語ご法話 柿原興乗師
- 2日 1時半 日系マナー法要
- 16日 1時半 日系マナー法要
- 28日 10時半 敬老ホーム法要

私たちの生活は便利になったものの、その分、昔以上に忙しくなり、自分の生活を振り返ったり、向き合ったりする時間がなくなってきたように思います。たとえ一日に数分でも、静かに手を合わせ、自分と向き合う時間、場所。阿弥陀さまに感謝し、いただきたいのち、今日という日に感謝し、お世話になった人に感謝する時間。文句を言ったり、腹を立ててしまった自分を省みる時間、場所。忙しい現代を生きる私たちには、そういう場所や時間が必要だと思えます。

アメリカでは、毎週日曜日に日曜礼拝があり、お寺で阿弥陀さまに手を合わせる時間がありますが、それは、自分と静かに向き合う時間でもあります。そして、そういう時間を毎日の生活の中でも持っていたきたいと思えます。仏さまに手を合わせ、亡くなった家族に手を合わせ、そして、今日もいただいた、自分のいのちにも手を合わせる。仏教は、本当の自分を教えていただく教えです。私たちが仏として生まれさせていただくのは、仏さまのはたらきによりますが、私たちは、いただいた日々をよりよく生きるための、出来るだけの努力が必要です。仏さまを中心として生きる毎日を心がけたいものです。 合掌



会長の挨拶

星野アラン

2月末に雪が降ったりと寒い冬でしたので春が来るのを待ちこがれます。この春は楠活也先生のシアトル別院への任命という素晴らしいニュースで気分も一新になります。先生は4月の第二週目に着任の予定でちょうど花祭り法要の期間と重なり法要は4月16日に変更となりました。

楠先生が「輪番」のタイトルでこちらにこられるのかと思っておられるのでしたら、グッド・クエスションです。BCAの梅津総長によりますと、別院とは本願寺のランチであると説明されています。その別院の主任開教使は輪番であり、そのタイトルは本願寺のご門主より与えられます。楠先生がシアトル別院のレジデント・ミニスターであることはBCAよりご門主にレポートされています。その返事をまっています。



楠先生は1977年長崎生まれで、現在家族のお寺は長男のなおよ師が17代目として継いでおられます。先生は宮崎大学を初等教育専攻で卒業され、趣味は野球を見たり、プレーされることです。大学在学中に2年半に亘り日本のボランティア・プログラムよりジンバブエで野球のコーチにいかれました。卒業後3年間、3年生と6年生を教えられ、その後2年半に亘り仏教の勉強をされ、その中には本願寺派の儀式（勤式）、お経のスペシャリストとしての免除はBCAでも関谷先生と2人だけが持つておられます。

先生はローダイ仏教会より着任されます。ローダイには2010年よりお勤めされておりました。先生と奥様のアキノ夫人には去年の9月に長男のユイヤ君にめぐまれ、先生は5月家族と共に父上の一周忌のために日本に行かれ、その後ローダイより一人でドライブしてシアトルに向かわれます。先生がシアトルで落ち着かれた頃の5月に奥様と息子さんがシアトルに来られる予定。

春はお寺の新しい時代と共に近づいています。明るい将来です。 合掌

サーモンディナー 3月18日

テークアウトとドライブ・スルーが2時から7時、屋内食事は4時から7時半

チケットが維持会会員に郵送されました。チケットを受け取っていない方は事務所までご連絡下さい。チケットはご家族、ご友人で使われますようにお願いします。追加のチケットも事務所にあります。またチケットのお支払いは10日までにして下さい。材料の食料をオーダーするのに数が必要です。もしチケットを返す場合は早い目に送り返してください。返却がない場合サーモンのオーダーに含まれてしまいます。当日の返却は別院に多大な損失となります。

ことしからウェブサイトからもチケットをお求めになれます。クレジットカードでお支払いできます。別院にとって大変重要なファンドレイズの機会です、皆様のご協力をお願いします。

ベーク・セール サーモン・ディナーと同時にベーク・セールもあります。クッキー、などのほかにおはぎや饅頭をBWAが作ります。皆様からのベーク品のご寄付をおねがいでいます。ご寄付の場合、ナッツのアレルギーの方のためにナッツ入りはレーベルに示して下さい。また1ドル単位で値段を付けて頂きラップをして下さい。当日2時までにお持ち下さい。

当日お手伝いされる方はキングカウンティのフードハンドラーのパーミットを取ってください。

<http://www.kingcounty.gov/depts/health/environmental-health/food-safety/food-worker-card.aspx>

で取れます。2年有効です。10ドルです。パーミットは事務所までお知らせください。

★サインアップの表が廊下にはりだされます。また各グループでもお手伝いを必要としています。

会員部より

別院維持会会員の年度会費は70才以上は\$250（\$500ご夫妻）、70才以下は\$300（\$600ご夫妻）です。これは別院の維持に対しての最低額になります。分割でも払えます、事務所までお申し出下さい。今年分の会費をお支払いになった方のお名前が英語文にあります。

関谷先生の近況

関谷先生は3月2日現在、サン・ホゼに於いての全米カンセル会議に出席されています。シアトルを先月25日に出発しガーデナには28日に到着し次の日にサン・ホゼに向かわれました。ガーデナへはやはり山を越えるのが大変だったようで、雨と雪の困難なドライブだったようです。別院の日本旅行のグループは3月末に先生にお会いする予定です。

婦人会便り

先月末に関谷先生がガーデナに発たれ大変さみしくなりました。婦人会は先生に多くのアドバイスを頂き感謝しています。またお会いする日を楽しみにしております。

新しい先生が来月着任されます。楠活也先生はローダイ仏教会よりの赴任。先生は長崎県のお寺の出身です。



さる2月18日には50人以上の婦人会会員が西北部仏教徒大会に出席しました。タコマ仏教会の主催でオレンジ・カウンティスよりスピーカーのマービン原田先生と数々のウォークショップに一日をたのしみました。

婦人会名簿が新しく作られ当番係りが皆さんにお届けしています。まだ届いてない方はナイナ、まちこ、

キヨまでお知らせください。

別院のファンレイズであるサーモン・ディナーは3月18日に計画されています。チケットをなるべくご家族、ご友人に買ってもらってください。また当日お手伝い出来る方はサインアップしてください。

4月には会員親睦会と新入会員歓迎会が開かれます。皆様のご出席をお願いします。一緒に楽しい一日にしましょう。

会員の田中なみ夫人と野瀬静子夫人が亡くなりました。ご家族の方々には心から哀悼の意を表します。



日本語グループによる関谷先生のお別れランチ 2月21日

コンベンションにて

